

グループ各社・各部署への 電子契約推進を通じた、 業務効率化・ガバナンス強化 およびSDGsへの貢献

株式会社リログループ
グループ最高情報責任者（CIO）付

ひ むろ かつ ひさ
氷室 克久



グループ各社への電子契約普及 と導入効果の要旨

リログループでは、電子契約のグループ展開により、次のような成果をあげております。

■グループにおける電子契約普及の概要

1. グループ各社のニーズに合致する電子契約サービスの選定・導入
2. ガバナンス・セキュリティ保持のため、導入後環境を整備
3. 各社の業務効率化、ペーパーレス化・CO₂削減に寄与

■グループ全体での導入効果（図1）

- ・今年度締結見込みの電子契約6,600件
- ・ペーパーレス化した紙の枚数約20,000枚
- ・今年度達成想定CO₂削減効果152kg^{※1}（500mlペットボトル152,000本分に相当）

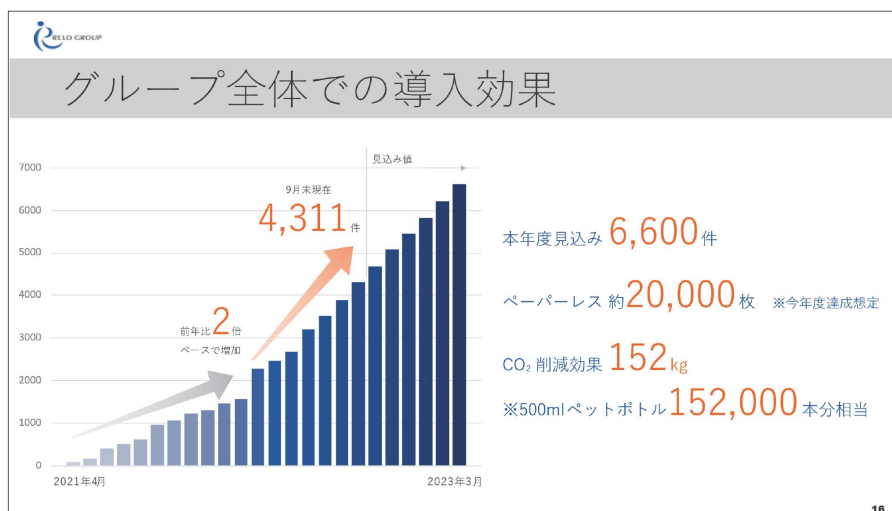


図1 グループ全体での導入効果を示したグラフ

リログループについて

リログループは、日本企業のグローバルな競争が激化する環境下において、企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること、および企業の世界展開を支援すること、これから始まる日本の大転換になくはなら

ない存在になることを使命とする東証プライム市場上場企業グループです。

この使命のもと、海外を含むグループ全99社^{※2}が『グローバル・リロケーションカンパニー No.1』を掲げ、借上社宅管理ア

※1 「全国地球温暖化防止推進センター HP CO₂ 1トンの体積」より試算

※2 2022年3月現在



図2 電子印鑑GMOサインの利用範囲の全体像

ウトソーシングサービスのほか、672万人が利用・契約企業数18,200社以上^{※3}の福利厚生制度をサポートする企業福利厚生代行サービス、海外赴任時における各種業務代行サービスなど、企業・従業員のお客様から個人のお客様までサポートするアウトソーシングサービスを幅広く展開しています。

2018年から電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」の利用を開始し、グループ各社の多様な事業・契約書に利用範囲を拡大しています。

電子契約・導入の流れ

まずは、住宅トラブル専門コールセンターを運営するリロクリエイト社から先行導入を開始しました。リロクリエイト社では、2022年3月時点で契約社数900社・受付総戸数130万のお客様に対し、住まいの緊急工事や点検代行等のサービスを行っており、管理戸数の上昇に伴って増加する、契約書・文書の保管・管理等の手間やコストが課題となっていました。

当時の担当者が電子契約サービスの存

在を知り、各電子契約サービスを比較検討し、2018年から「電子印鑑GMOサイン」を導入。同時に約300社1,300件におよぶ契約書等の文書情報を電子化しGMOサインに保管した結果、契約締結から文書管理にかかる業務コストを削減すると同時に、さまざまな書類の一元管理や検索性のアップやセキュアな環境への文書保存等が可能となり、業務効率アップに成功しました。

電子契約サービス選定のポイント

この頃から少しずつ電子契約の相談も増え始めたことを鑑み、2019年から私達IT部門と法務部門がタッグを組み、「文書管理（紛失・喪失リスク、ガバナンス強化、保管場所、一元管理）」「生産性向上（業務効率化、印刷・製本・郵送等のコスト削減）」「ペーパーレス化（事務所フロアの効率化、SDGsへ貢献）」を目的に、グループ各社のニーズを吸い上げ、さまざまな電子契約サービスを比較検討し、選定したサービスを元に、効率的な電子契約による課題解決や利用時のルールづくりを整備しました。

電子契約サービスの比較ポイントとしては、以下5点を特に重視しました。

1. オンラインで契約締結を完結できる
2. 法的有効性、証拠力、署名権限などのガバナンスやセキュリティ強化
3. 紙の契約書も含めた一元管理
4. 複雑な組織構造下でも耐えうるアクセス制御
5. 会社印の押印管理以上の水準・効率を損なわない署名管理の実現



図3 電子印鑑GMOサインの導入効果

※3 2022年6月現在

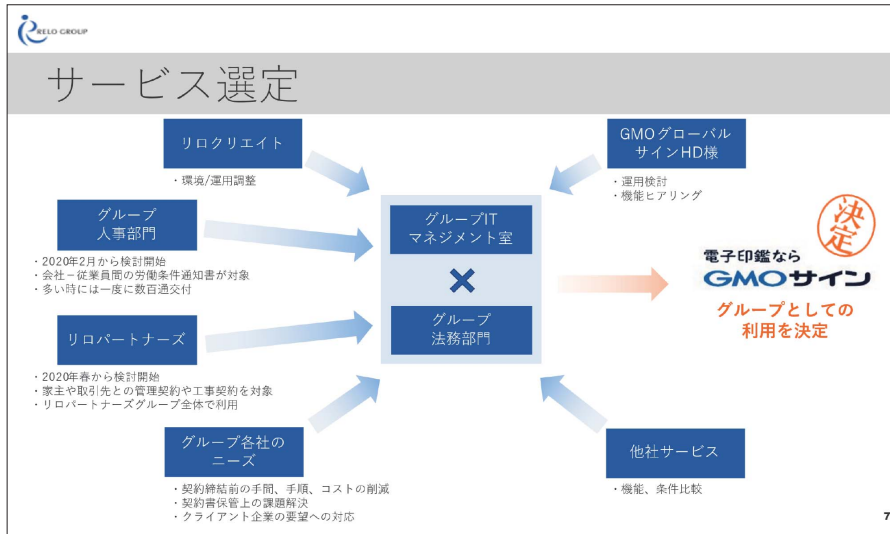


図4 サービス選定にあたっての意見集約

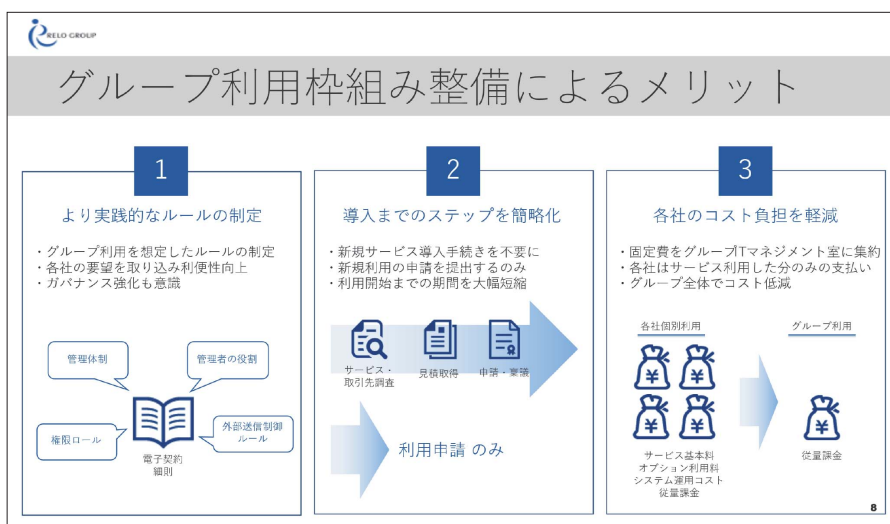


図5 利用による3点のメリット

多種多様な事業を担う グループ各社での活用事例

■リロパートナーズグループ：不動産 賃貸管理事業

- ・対象文書：
管理委託契約書、工事契約、重要事項説明書
- ・効果：
印紙代削減、遠隔地との円滑な契約締結を実現、リードタイムの大幅短縮

- ・ポイント：
成功事例の水平展開、IT重説など法改正を機に電子化の範囲を拡大

リーベハウス社、リロパートナーズプロパティ社、東都グループが電子契約サービスの成功事例を創出し、中間持株会社リロパートナーズ社がグループ各社の双方向コミュニケーションの旗振り役として成功事例を水平展開することにより利用拡大を進めています。

改正宅建業法施行も後押しとなり、契

約の電子化はさらに加速していくと考えています。

■リロエクセル：日本企業の世界展開 をサポートする海外赴任支援事業

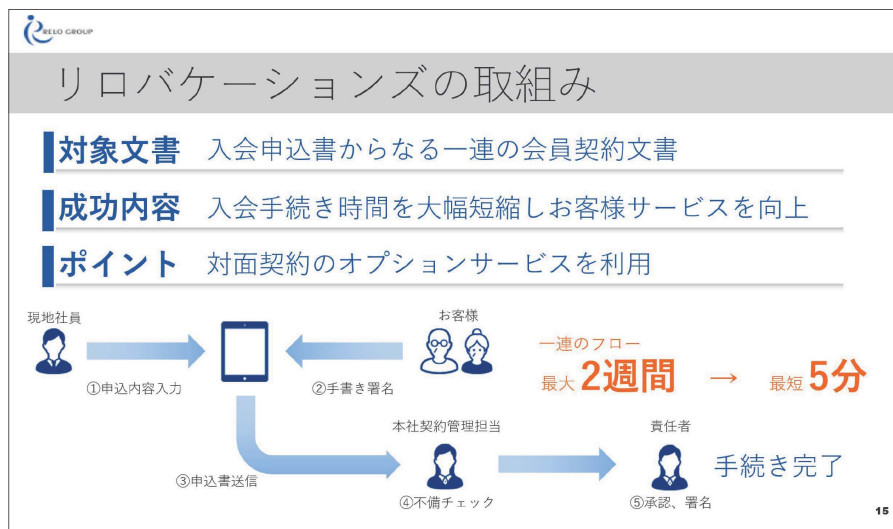
- ・対象文書：
業務委託契約、雇用契約など
- ・効果：
リモート勤務体制で円滑な契約締結を実現、郵送コストを削減、契約締結までの期間を大幅に短縮、クラウド保管でセキュリティ/検索性向上
- ・ポイント：
ロケーションに左右されない業務プロセスの確立

リロエクセルでは、海外赴任に伴う安全・医療サービスや研修・危機管理対応まで、お客様のグローバル事業展開を支えるための戦略・経営人事ソリューションを提供しています。

これまで毎年100名超の講師・スタッフと紙の契約で発生していた契約業務を電子化することで、ロケーションに左右されない業務プロセスを確立し、業務の手間や時間、郵送・保管に伴うコストの削減を実現すると同時に、紛失リスクを無くし、検索性の向上に成功しました。

■リロバケーションズ：観光・会員制 ポイント制リゾート事業

- ・対象文書：
入会申込からなる一連の会員契約文書
- ・効果：
入会手続き時間を大幅短縮し、お客様サービスを向上
- ・ポイント：
対面契約オプションサービスの活用
別荘会員2万人、ホテルズ&リゾーツ会員数約20万人にサービスを提供している



1. 無理に一斉展開せず、各社・部署のニーズを確認しつつ展開
2. ルールやシステムの内容、管理体制の説明は丁寧に
3. 効果が得られる業務や部署から着実に導入

という3点が重要です。

このようなポイントを押さえながら電子契約をグループ展開していくことで、冒頭のような成果を達成することができました。

弊社・リログループでの取り組みを参考に、電子契約サービスの導入や利用拡大を進められることを通じて、生産性向上と持続可能社会への貢献、企業の社会的責任を果たす一助となれば幸いです。

ボート事業では、「対面契約プロ」オプション^{※4}を導入することで、従来は最大2週間ほどかかっていた入会手続きを最短5分にまで短縮することができました。これにより、入会後すぐ利用したいお客様のニーズに応えることができるようになり、業務効率化に加えて、顧客サービスの向上につながりました。

まとめ・電子契約のグループ展開成功のコツ

電子契約のグループ展開成功コツは、

※4 「対面契約プロ」オプションは、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」のオプション機能。タブレット端末とタッチペンで手書きのサインを行う際に、特許技術を用いたストローク情報等の本人確認に有用となる情報取得が可能となり、高い利便性に加えて、筆跡鑑定に耐え得る証拠能力の高い文書作成が可能となる。

御社の文書管理診断します！ 文書管理達成度評価・調査ご協力をお願い

「皆さんの組織の文書管理のレベルはどのくらいですか？」

各組織では、内部統制、説明責任など、社会のさまざまな要請にもとづいて文書管理を実践しています。しかし、文書管理のレベルを測る仕組みがなく、これで十分なのか、不足している点は何かを知ることが難しいのが実情だと思います。

JIIMA文書管理委員会では、そんな疑問を解消し、各部門が正しく文書管理ができているかを診断するサービスを開始しました。貴社組織の現状を回答シートに書き込み送付いただければ、文書管理委員会が診断しお返しします。

将来的にはご提供いただいた情報を元に、日本における組織の文書管理現状をまとめ、その中で各組織がどのレベルに位置づけられるかをわかるようにしたいと考えています。

自社の文書管理に関心がある組織の方々のご利用をお待ちしています。

メリット

- 自社の強みや弱みを明確に把握することができるとともに、取り組むべき方向性も明らかになり、文書管理の改善に結びつけられます。
- 他社のレベルと比較でき、自社の文書管理推進の動機付けになります。
- 一定の時間が経過した後に再評価することにより、自社の改善の度合いを確かめることができます。

詳細は右記URLを参照ください。 https://www.jiima.or.jp/basic/doc_mng/